



防火コート

アクアバリア

スピード施工でLow-cost
建築現場の安全を守る吹付防火コート



株式会社 日本アクア


〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 太陽生命品川ビル20階
TEL:03-5463-1117(代表) FAX:03-5463-1118
<https://www.n-aqua.jp>



防火コート アクアバリア

建築物に使われる硬質ウレタンフォームなど、火気に弱い有機系断熱材に直接塗布するだけ。
現場作業で発生する溶接・溶断火花による着火を防ぎ、防火性を発揮します。
火花をはじいて建材を守る防火コート材で、**建築現場の火災リスクを軽減**します。

アクアバリア8つの特長

工期短縮	施工時間を短縮 吹き付けるだけで短時間に施工。 ウレタンフォーム吹付施工追従が可能。(40~70m ² /h以上) ※調合時間を除く。下地、形状によって施工時間変更。	プライマー不要 吹付前の下塗りが不要。 手間をかけずスピーディに施工できます。	硬化速度が早い 塗布後一晩でしっかり硬化。 現場の日程計画への影響を最小限に。
性能	溶接溶断火花をはじく JISの試験をクリアする信頼の性能。 溶接・溶断火花をはじき着火を防止。	軽量化が可能 2~3層の塗布で性能発揮。 軽量なので建築物への負荷も軽減。(使用量約0.8kg/m ²)	強力接着で性能維持 剥がれ落ちにくく防火性能を維持。接着力はウレタンフォームより強力。
その他の特長	小型機械で簡単施工 塗布機械は小型で100V対応。 持ち運びがラクで作業もスムーズ。	色の変更が可能 現場に合わせて色指定可能。 防火コートの有無がひと目でわかります。 ※料金、納期別途ご相談下さい。	 日塗工色見本 N-55(N5.5) Paint-color.net ※日本塗料工業会発行の色見本帳をご参照下さい。

防火コート施工例

下地が見えなくなる程度に塗布するのが目安。
スピーディな施工で建設現場の火災事故を防ぎます。



[施工面積26.6m²、調合時間 1回10分、吹付時間22分]

溶断火花試験C種 / 性能試験結果

アクアバリアは、JIS A-1323 溶接・溶断のスパッタ(火花)に対しC種の試験条件をクリアしています。

《JIS A 1323について》
建築工事用シートの溶接及び溶断火花に対する難燃性試験方法

[合格基準]

条件:鋼板の厚さ3.2mm、切断速度70cm/分、酸素圧力2.0kg/cm²
厚さ3.2mmの火花発生用鋼板を溶断するとき発生する火花に対し発炎及び防火上有害な貫通孔がないこと。

品質性能試験報告書

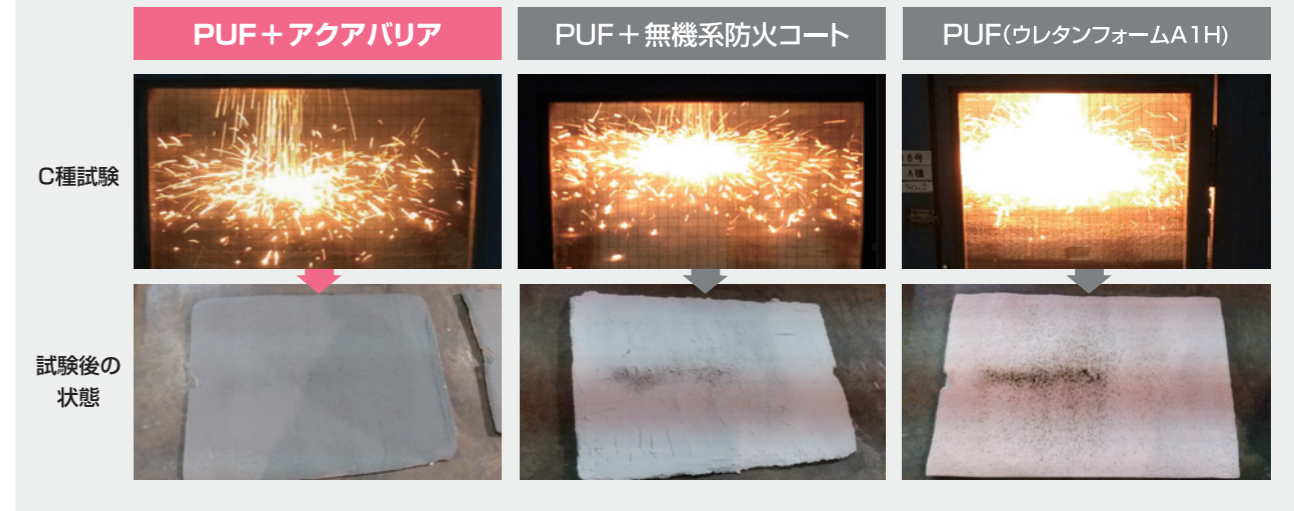
JIS A 1323に規定するC種の難燃性試験

※第三者試験機関により建築工事用シートの溶接及び溶断火花に対する難燃性試験に合格していますが、認定を取得した意味ではありませんので、難燃試験C種相当品になります。
※本書に含まれる情報は情報提供時に入手できた資料や情報に基づいて提供するものであり、当社が保証するものではありません。



溶接・溶断火花試験

厚さ3.2mmの火花発生用鋼板を溶断して火花を発生させたところ、
アクアバリアは火花をはじき着火による影響はほとんどありませんでした。
この結果、JIS A 1323「建築工事用シート溶接及び溶断火花に対する難燃性試験方法」のC種に合格しました。



■ アクアバリア基本物性

項目	アクアバリア	無機系防火コート	備考
乾燥時密度 [g/cm ³]	1.5±0.15	0.25±0.03	絶乾時の値
熱伝導率 [W/(m·K)]	0.128	0.060	JIS A 1412-2
圧縮強度 [N/mm ²]	15.34 ^a	0.60	JIS R 5201
接着強度 [kPa]	374 ^b	145 ^c	-

a) 10mm角で測定
b) JIS A 9526. プライマーなし
c) JIS A 6909. プライマーあり

■ アクアバリアの防火性能(発熱性試験例)

防火コート	基材	コート材厚み [mm]	総発熱量 [MJ/m ²]	最高発熱速度 [KW/m ²]	有機量 [g/m ²]
アクアバリア	石膏ボード	0.3	4.2	57	63
アクアバリア	石膏ボード	0.5	5.7	160	136
アクアバリア	亜鉛鋼板	0.1	1.4	19	57
アクアバリア	亜鉛鋼板	0.4	2.7	93	115
無機系防火コート	石膏ボード	4.3	4.5	5	データ無し

[試験条件]
・試験時間20分
・評価試験は(株)日本アクアテクニカルセンターにて実施
・試験結果はN=3の平均値
・基材石膏ボード12.5mm
・亜鉛メッキ鋼板0.3mm
[ガス有害性試験不要材料を定める件]
該当建材に含まれる有機物の量が1m²につき200g以下のもの

アクアバリア注意事項

(1) 火気厳禁

一部の原料は消防法危険物に該当しますので施工箇所周囲は火気厳禁でお願いします。施工1日経過前までやむを得ず溶接、溶断される際は消火器(水入りバケツ)等を準備され、周囲への飛散等考慮し監督者の指示のもと実施して下さい。

(2) 施工後の養生

原料を塗布乾燥に1日程度必要になる場合がありますので乾燥までは表面に触れないで下さい。

(3) 換気、酸素欠乏の防止対策

施工時に原料溶剤分の臭気がございますので通風のご配慮等作業場の換気をお願いします。地下室等通風が不十分な箇所の安全対策の確保をお願いします。

(4) 原料保管における注意事項

缶は直射日光にさらされない室内環境での保管をお願いします。また、袋は水分等含まないように配慮して保管願います。その他に関しては製品ラベル記載の注意事項をご確認ください。

(5) 原料取り扱い

原料の取り扱いに関しては仕様書、SDS、製品ラベル表示等をご参考下さい。